

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	12人	人	人	16人

前回の改善計画

利用前の聞き取りの情報やその都度得られた情報は朝礼、ミーティングで周知する。支援内容はミーティング記録と援助計画に記載し、確認した職員はサインや印鑑を押す。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員が意識的情報収集に取り組み、朝礼等で周知出来るまで、複数回確認し、援助に繋げるよう取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	11	2		16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		14	2		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	9	4	1	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	12	1	2	16

できている点

- ・利用開始前に利用者情報を把握出来るようにしている。
- ・ミーティング、個別ファイル、朝礼、申し送りノートにて情報を共有している。
- ・職員が「気付き」を上げて話し合いをしている。
- ・利用開始にあたり不安がないよう環境づくり (他利用者の関係等) をしている。
- ・不安に思う事は話し合いをしている。
- ・利用者と話しをする時に不安な事を聞き出し、必要な事は管理者に伝える。
- ・利用者が慣れていない時には積極的に話しかける。接する時間を増やしている。
- ・情報を共有した後も職員間で声を掛け合いミスを減らす事が出来ている。

できていない点

- ・ミーティング記録を確認するが全部を把握できない。
- ・家族の思いを知る。
- ・日々の業務に追われ気遣いが欠けている時がある。
- ・家族との関りが少ない為、家族の不安な事を直接聞く事がない。
- ・細かいニーズに対応できていない事がある。
- ・利用者が自分の思うようにいかず不穏になられる事があった。
- ・利用者に慣れていない時には声掛けが難しい事があった。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用開始までに、必要な情報、ニーズを職員が共有し、スムーズに開始できるよう朝礼、ミーティングを使って周知する。
- ・職員全員が送迎時などで得た情報を「申し送りノート」等を活用して周知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	2人	人	16人

前回の改善計画
利用者の自己実現を叶える支援を行う。援助計画見直し時期、目標を達成できているかの確認を行う。モニタリングの活用。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングの時間を活用し、援助計画の見直しを行う事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	8	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	8		16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	5	1	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	5	2	16

できている点
・常に利用者に関わり、思いなどミーティング等で報告し、職員間で共有している。 ・利用者が「～したい」と希望された事に対して出来る事は対応している。 ・食事面でサポート出来るようにミーティング記録等で確認するようにしている。 ・ミーティング記録を読み、利用者の目標を継続して支援出来るように対応している。 ・自宅で暮らし続けられるよう身体機能が維持できるように取り組んでいる。

できていない点
・家族から「歩かせて欲しい」と希望が有っても、本人の思いを通し車イスでの移動になっている。 ・利用者との目標を共有する事が難しく、その場その場の支援になる。 ・本人の目標 (長期目標、短期目標) を把握していない。 ・「～したい」はわかっているが支援に繋がっていない。

次回までの具体的な改善計画
・利用者の目標を共有出来るよう、定期的に支援内容の確認を行い、達成できる具体的な支援方法を考える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	3人	1人	16人

**前回の改善計画**  
 本人との日々の関わりや家族との交流(面会、訪問時、連絡ノート)で「自宅での暮らし方」の情報収集を行い把握していく。得た情報は職員ミーティングで報告し情報を共有する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 得た情報に関しては職員間で把握する事ができた。  
 「以前の暮らし方」では仕事の事などは比較的聞き出しやすいが、10個を集める事は難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	10	4	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	14			16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	11	2	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	11	2		16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	3		16

**できている点**

- ・気付いた事は他の職員に伝えるようにしている。
- ・必要な情報は、ミーティングや朝礼などで伝達されている。
- ・自宅での生活環境など、日々の会話にて少しずつ得ることが出来ている。
- ・利用者の体調に合った食事を出来る範囲で提供している。
- ・安全を重視しながら利用者が出来る事を維持できるよう環境整備を行い、情報を共有し実践している。

**できていない点**

- ・「以前の暮らし方」を把握できている利用者としていない利用者がある。
- ・「以前の暮らし方」を上手く聞き出せないまま途中で諦めた。
- ・家族と直接関わる事が少ないので交流が出来ていない。
- ・ミーティングで援助計画の見直しが確実に出来ない利用者がある。

**次回までの具体的な改善計画**

- ・利用者全員の「以前の暮らし方」を聞き取り、職員間で共有する。
- ・日々の関り、記録を活用して「変化」い気付き、支援に繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	10人	2人	16人

前回の改善計画
職員会議で基本的な社会資源について勉強会を行う。参加可能な地域行事には積極的に参加し、利用者や職員で関わる機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングで社会資源について話す機会はあったが、支援に繋げるには難しい面があった。コロナ感染症予防の為、外出する機会が大幅に少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	6	1	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	10	4	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	9	2	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	10	2	16

できている点
・報恩講ができ、地域のお寺との関わりが出来た。 ・在宅での利用者の様子、体調などは送迎時に家族より情報を頂く。 ・小規模を利用しても家族との関りが減っていかないように情報を家族へ伝える。

できていない点
・利用者と地域の関わり方がわからない。 ・コロナ感染症の為、地域行事に積極的に参加できなかった。 ・家族から自宅での情報を十分に聞き取れないことがある。 ・事業所で関わる事しか出来ていない。 ・在宅での利用者の活動を把握できていない。 ・ミーティングに参加できていない。

次回までの具体的な改善計画
・コロナ禍でも地域と何らかの形で繋がりを継続出来るよう情報収集を行う。 ・町内の社会資源を有効に利用できるよう、必要な支援を利用者へ繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	7人	7人	1人	16人

前回の改善計画	事業所で完結できる支援だけではなく、地域の行事や外出等、地域とかがわる機会を増やす。本人のニーズを理解し支援につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルス感染予防の為、外出機会が少なくなったが、感染状況が落ち着いている時には予防対策をした上で行事を行い、外出する機会が持てた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	10	4	1	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	10	1		16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	12	1	1	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	13	1		16

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防対策で外部からの面会など出来ない時期はあったが、感染状況をみながら、面会等も受け、利用者と地域の方との関わりのサポートができた。</li> <li>・利用者の変化については、その都度報告し共有している。</li> <li>・本人の状態に合った食事の提供をしている。</li> <li>・利用者や家族の希望を聞き状況に添った利用が出来ている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関わりが難しい時期があった。</li> <li>・新型コロナ感染症の影響により、サロンの利用や、図書館利用、地域と関わる事が難しかった。</li> <li>・地域行事が中止等の理由で以前より地域との関わりが減った。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要時に新型コロナ感染症の感染状況を見ながら、ニーズと社会資源を繋げる支援を行う。</li> <li>・利用者の強み、可能性をミーティング等で確認し、可能性を拡げる支援を行う。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

6. 連携・協働

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	5人	2人	16人

前回の改善計画
地域の活動やイベントについて把握し内容を確認する。 引き続き他機関との会議等で収集した情報は朝礼、ミーティングでスタッフへ情報提供を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
「人権フェスタ」等、コロナ感染症が落ち着いている時に参加できた。 情報収集にて得られた情報はスタッフで共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	4	2	8	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	7	8	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	2	7	6	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	8	7	16

できている点
・ イベントへの作品展示が出来た。 ・ サロンの協力員をしている。 ・ 町内の活動に参加している。 ・ コロナ禍の中で、出来る限り他機関と関わりを作っている。 ・ 身体状態や介護方法等、不明な点を専門職に聞いて連携している。

できていない点
・ コロナの影響により交流機会が減った。 ・ 利用者以外の方が訪問できる工夫を考えられていない。 ・ これまで出来ていた活動、イベントが行われていない。 ・ 直接会議には参加していない。

次回までの具体的な改善計画
・ 新型コロナウイルス感染症の中でも出来る事を探し地域と繋がる事を実践する。 ・ 利用者の生活に他事業所や機関が必要な時には連携し適切な支援へ繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

7. 運営

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	1人	1人	16人

前回の改善計画

- ・利用者や家族、地域の方からのご意見や苦情は連絡帳を活用して記録として残し、その都度職員会議で協議し改善に取り組む。
- ・ご意見箱をわかりやすい場所に設置する。

前回の改善計画に対する取組み結果

利用者、家族からの意見や苦情はヒヤリハット等の記録に残し、ミーティングで協議し改善に取り組んでいる。  
ミーティング、朝礼で周知している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	8	3	3	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	1	2	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	2	3	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	8	5	3	16

できている点

- ・家族からの苦情など朝礼や申し送りノート、職員会議で問題提示し、改善方法を検討するようにしている。
- ・相談の電話など、わかりやすく説明し、他へ繋げる事ができた。
- ・良い情報も報告して共有し励みにしている。
- ・より良い事業所にする為、話し合いを実践している。

できていない点

- ・運営について理解出来ていない。
- ・家族から連絡帳へ記入してある内容の確認が出来ていない事があった。
- ・運営推進会議で頂いた意見や内容を職員に伝えていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用者、家族からの意見の聞き取り、連絡帳の確認等を確実に言い、運営に反映せる。
- ・新型コロナウイルス感染症の中でも地域と協働して取り組める事を見つける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人	2人	16人

前回の改善計画
・気づきを大切にし、小さなことでもヒヤリハット報告書に記入し職員会議で検討する。 ・リモートや配信形式の研修を活用し、職員が平等に研修機会を得られるように計画を立てる。 研修で得た情報は職員会議で内部研修として周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ヒヤリハット報告はミーティング時に検討し対策を立て、支援に活かしている。 ・外部研修が中止になり、参加が難しい状況になったが、参加できた研修については資料等で内部研修が行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	1	7	4	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	6	6	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	5	9	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9	2	4	16

できている点
・コロナ禍でも出来る限り研修に参加している。 ・転倒が発生した為、テーブルやイスの配置を見直した。 ・先の事を考えながら行動するようにしている。 ・ヒヤリハットを多く上げ事故防止に取り組んでいる。 ・ミーティング時に研修を行う事が出来た。 ・研修資料に目を通し、全体研修に参加できない部分を補っている。

できていない点
・リスクマネジメントに取り組んでいるが、優先できていない時がある。 ・外部研修は決まった職員しか研修に参加出来ていない。 ・食事面だけで関わっているので会議、研修に参加していない。 ・研修に参加する事が少ないので、自分で勉強するように心がけている。

次回までの具体的な改善計画
・新型コロナウイルス感染症の為、外部研修に参加する機会が少なくなったが、リモート等の研修を活用する。 ・研修資料は職員全員が目を通す時間を作り、支援に繋げるようにする。 ・予測されるリスクに対し、予防的な対応を職員全員で取り組む。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 (17:00 ~19:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	4人	1人	16人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 成年後見制度について内部研修を行う。</li><li>・ 虐待が疑われるケースは福祉課に報告し、連携して早期解決を図る。</li><li>・ 個人情報は鍵付きロッカーに収める。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 使用時以外利用者の個人記録は鍵付きのロッカーに収めており、個人情報は保護されている。</li><li>・ 今年度、虐待が疑われるケースはなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4	2	1	16
②	虐待は行われていない	9	6	0	1	16
③	プライバシーが守られている	6	7	2	1	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	6	3	4	16
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	9	1	1	16

できている点
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 成年後見制度の内部研修に資料にて参加している。</li><li>・ 身体拘束や虐待について研修にて確認を行っている。</li><li>・ トイレ介助などプライバシーを守る為、トイレ外にて待機するようにしている。</li><li>・ 身体拘束や虐待を行わないように、自分の支援を見直しながら支援を行っている。</li><li>・ 丁寧な言葉遣いと傾聴する事を心がけている。</li><li>・ 言葉だけでなく、表情や行動にも、不安がないか注意するようにしている。</li><li>・ 個人情報を扱う時には緊張感を持って行う。</li></ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"><li>・ どこまでが身体拘束なのか理解できていない事がある。</li><li>・ 成年後見制度に関わっていない。</li><li>・ 個人情報の管理は普段は出来ているが、忙しい時に疎かになる時がある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 身体拘束、虐待の研修を行い、介助の方法等の再確認を行う。</li><li>・ 個人情報は鍵付きロッカーに収める。テーブルの上に出っぱなしにしない。</li></ul>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 安芸太田町社会福祉協議会	代表者	藤井幸穂	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は診療所の2階に併設されており、医療と連携した高齢者介護を一体的にサポートしています。近所には役場、公園、スーパー、図書館、ふれあいセンター、お寺が4か所と周辺的环境にも恵まれ、有効に資源を活用することができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所「ふれあい」	管理者	山下真樹子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	0人	1人	1人	1人	5人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	振り返りを行いながら自己評価を職員全員が理解し取り組む。	職員全体で自己評価を行い、振り返りと目標の確認ができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を共有し、解決の為の取り組みを組織として進められている事がよくわかりました。</li> <li>・年度に行うべき自己実践目標対して客観的にどの程度、目標が達成出来たかを見る目が必要と思います。</li> <li>・「できていない」が減っていくと良いと思います。</li> <li>・達成率を確認する事。</li> <li>・自己評価は厳しめだと思えます。</li> </ul>	<p>自己評価、外部評価を行う事が事業所、個人の問題解決に繋がる事を理解する。</p> <p>目標を明確に出来るようミーティングで定期的に周知する。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の清潔を保持する。感染症予防に留意し、定期的な換気、消毒、職員の衛生管理を徹底する。	感染症予防に留意し、消毒、換気、職員の健康管理に取り組めた。外部からの出入りを制限した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍と言う事もあり頻繁に施設の入る事はありませんが、いつも綺麗に整えられた環境にあると思います。</li> <li>・人を迎え入れる対応や雰囲気明るく温かいと思います。</li> <li>・毎日のルーティンを確認し、それを繰り返す事。</li> <li>・会議を開いて職員の意識を向上させ、環境整備等に心掛けている。</li> </ul>	<p>感染症予防を継続的に取り組む。</p> <p>消毒（一日2回） 換気（2時間毎）</p> <p>密にならない環境整備 ディルーム、食堂、送迎時車内の座席の配慮。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	小、中、高校生の職場体験や学習は今後も継続的に受け入れる。新型コロナウイルスの状況をみて外出や、地域交流についてはその都度検討し判断する。	職場体験は中止になり、受け入れる事が出来なかった。地域交流は難しかったが、人権フェスタには作品展覧を行い、会場にも行く事が出来た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあって地域との関わりを持つことは難しい状況に有る事致し方ありません。</li> <li>・職員さんの皆さんの対応はとても良く安心してお任せしています。</li> <li>・地域が事業所に何を期待しているかアンテナを張っておく事。</li> <li>・隣接する地域支援センターの事業との関りがあり、外交的だと思います。</li> <li>・コロナ禍でなかなか関われないと察します。</li> <li>・コロナ禍で交流の機会も少なくて</li> </ul>	<p>コロナ禍においても地域との関わりが持てるよう、地域の行事に参加して、事業所の存在を知って頂く。</p>

			いて良くわからない。	
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域との交流はその時の状況を見て判断する。外出先での密状態を避け、散歩や外出行事の計画を立てる。	地域交流は難しかったが、散歩や屋外で体操やおやつを食べるなど密にならない状況を作り行えた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の存在をまわりから認めもらえる事はどのような状況にあっても大きな喜びと思います。今は難しいですが世の中が落ち着いて来たら色々な出合いの場があれば良いと思います。</li> <li>・言う程簡単ではない、もう少し具体的に計画を立てては。</li> <li>・地域と利用者さんを繋げる工夫をされていると思います。</li> <li>・どんな事をされたのか知りたいです。</li> </ul>	利用者の地域での関係を継続出来るよう、自宅での暮らしの様子を職員間で周知して送迎時などで会う近隣の方と挨拶や情報交換ができる関係作りを行う。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議でいただいた意見を地域の民生委員さんと共有し、支援につなげていく。</li> <li>・大きな行事の際は委員の皆さんに参加を依頼する。</li> </ul>	運営推進会議で頂いた意見を職員に伝え、職務の励みになった。大きな行事は行えなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ会議の様子がよくわかっていませんが支援を要する方の多面的な情報共有する事は必要と思います。</li> <li>・推進会議で委員から出た質問、意見等で仕事に活かせる事はないか？行動力が大切。</li> <li>・会議の中での意見内容が職員に伝われば良いと思います。</li> <li>・定期的に運営推進会議を開いて委員の意見を事業に反映している。</li> </ul>	<p>運営推進会議にて頂いた意見をミーティングで職員に周知する。</p> <p>コロナ感染症が落ち着いている時に、委員さんに事業所内を見学して頂く。</p>
F. 事業所の 防災・災害対策	・運営推進会議にて当事業所の消防計画の説明をする。	・年2回定例の消防避難訓練を実施。(2階利用者、3階入居者参加)参加職員で自動通報装置の場所、操作方法の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の点検や訓練などきちんとされていると思います。</li> <li>・年度中途の為、諸計画の説明を受ける事が出来なかった。</li> <li>・日々の注意を怠らない事。</li> <li>・確認されていると思います。</li> <li>・消防訓練実績あり。</li> </ul>	年2回の消防避難訓練は出来ている。 来年度は隣接する地域支援センター、通所介護事業所と合同で消防避難訓練を行う。